

開講科目名 / Course	社会保障システム論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	平野 互	
担当教員名 / Instructor	平野 互	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>国民の生命・健康と生活を支える社会保障制度すなわち保健・医療・福祉サービスを提供するための制度の概要を学ぶことを目的とする。</p> <p>まず社会保障全体の枠組みと意義を概説した上で、個人や集団の生活を支え健康を保持・増進するための保健・医療・福祉に関する法制度および行政上のシステムの概要を、課題や対象ごとに解説する。</p>	
到達目標	<p>1. 社会保障の意義を説明できる。</p> <p>2. 対象ごとに構築された制度の意義と内容を説明できる。</p> <p>3. 社会保障制度の課題を説明できる。</p>	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	<p>01. 社会保障の概要と意義</p> <p>02. 所得保障の方法 年金制度と生活保護</p> <p>03. 受療権の保障 医療保険制度と公費医療</p> <p>04. 医療法と医療計画</p> <p>05. 保健行政の概要と保健所・保健センター</p> <p>06. 感染症対策</p> <p>07. 子どもの保健と福祉</p> <p>08. 障がい者の福祉</p> <p>09. 健康増進と高齢者医療</p> <p>10. 高齢者の福祉と介護保険</p>	
その他の授業の工夫	法や制度の記憶に終わらず、その意義や課題を理解できるよう、可能な限り最新のデータを提供して、実社会の動きや事象と関連付けられるように解説する。	
時間外学修	毎回講義内容が多岐にわたるため、講義回ごとに復習し、「国民衛生の動向」などで関連事項を理解すること。不明な点は積極的に質問してほしい。	
評価方法と評価割合	筆記試験（100％）	
テキスト	講義ごとにハンドアウトを配布する。	
参考書	<p>国民衛生の動向（厚生労働統計協会）</p> <p>国民の福祉の動向（厚生労働統計協会）</p> <p>保険と年金の動向（厚生労働統計協会）</p>	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		